

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	28.2	50.4	18.1	3.0
	東 中	15.4	51.3	30.8	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 全体の66.7%が分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することがおおよそできています。
- 以前に比べ、「分からないこと」をそのままにしないように学習している生徒は増えています。一方で知識や考え方の定着には課題があります。「分からないこと」があったときに、どのような知識を得たいのか、どのように覚えるかを考えてから学習に向かえるよう、今後も指導してまいります。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	東 中	2.6	10.3	46.2	28.2	10.3	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 平日の家庭学習の時間として1時間以上勉強している生徒は、全体の59.1%と低い値になっています。ただし、塾に通い始めた生徒も多いため、自主的・自発的に、必要な家庭学習を行っている生徒の割合はもう少し低い可能性があります。
- もともと学習に苦手意識をもっている生徒が多いことや、SNSや動画配信サイトなどを利用する時間が長い傾向があるために、家で学習を行う意識は低いことが課題です。自己実現を図るための手段として家庭学習の意識改善を図ってまいります。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	27.1	50.8	18.0	3.2
	東 中	15.4	59.0	20.5	5.1

(単位 %)

【考 察】

- 全体の74.4%が分かった点や分からなかった点を見直し、次の学習につなげることがおおそできています。分からないところを教科担当の先生や友人に聞いて理解しようとする姿勢は以前よりも多く見られるようになってきました。
- 実力テストや定期テスト、日々の授業内容への復習をする際に、「分からない」を分析し、どのように知識を確認・定着させるかを考える力を身につけられるよう指導して、意識させています。今後は復習の作業化にならないように注意させてまいります。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中 3	全 国	46.1	46.2	5.4	1.4
	東 中	17.9	74.4	5.1	2.6

(単位 %)

【考 察】

- 全体の92.3%が授業や学校生活において、周囲の考えを大切に、お互いに協力しながら課題解決に取り組むことがおおそできています。特に、授業時における話し合い活動や分からないことを教え合う活動には以前よりも積極的に取り組む生徒が多くなりました。
- 授業に向かう姿勢には真剣さが増し、集中して学習活動に取り組める生徒が増えたことで、学習する環境や雰囲気を生徒自身でつくって行くことが徐々にできるようになってきました。学級や学年全員でよい雰囲気をつくれるよう、今度も指導してまいります。